

Niterra日本特殊陶業の オープンイノベーション

社内アセットを活用した エレクトロニクス製品の共創

自動車業界は電動化への変革の中にあり、**内燃機関部品主体の事業からのポートフォリオ転換**を果たすべく、新事業に取り組んでいる。

当社が得意とする**セラミック素材、コンポーネント**を中心に新商材、事業開発をしているが、社会の変化が加速する中、内製開発のみではスピード感が伴わないため、社外パートナーとの事業共創を平行検討を考えている。

さらに今回は、素材、部品にとどまらず、**より事業価値の高いサブシステム、システム、完成品事業の創造**を図りたい。

2025

3.7 FRI.
18:00-20:00

(開場17:30)

会場：名古屋駅周辺
オンライン：zoomウェビナー

日本特殊陶業株式会社

ビジネスインプリメンテーション本部
エレクトロニクスICTシステム部
上席専門職 テクニカルアーキテクト

稲垣 浩 氏

連携のイメージ

- 1 当社の製品、素材、アセットと親和性のある可能性がある技術、製品、素材のご提案。
- 2 当社との共創による、新事業、エレクトロニクス技術を絡めたシステム、完成品事業の可能性検討。
- 3 フィジビリティ・スタディを実行、事業可能性の評価。

※講演内容、講師など、予告なく変更させていただく場合がございます。予めご了承ください。

詳細・お申込みURL



【締切】3月5日(水)

<https://www.nagoya-cci.or.jp/event/event-detail.html?eid=6758>

お問合せ先

- 名古屋商工会議所 佐藤(太)・山田
TEL : 052-223-8603 / E-Mail : startup@nagoya-cci.or.jp
- 中部オープンイノベーションカレッジ事務局
東海東京証券株式会社 ウェルスマネジメント統括部
オルクドールソサエティG 久保・藤井
E-Mail : chubu-oic@tokaitokyo.co.jp

商号等：東海東京証券株式会社 金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第140号
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、
一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人日本STO協会

PROGRAM

18:00～18:45 ニーズ発表・質疑応答

日本特殊陶業株式会社

ビジネスインプリメンテーション本部 エレクトロニクスICTシステム部
上席専門職 テクニカルアーキテクト

稲垣 浩 氏

- 1992年 同社入社。センサー事業部技術部、自動車関連開発部にて、プラグ、センサをコアにした複数の電子システムを企画、上市。
- 2001年 米国ベンチャー会社に出向、車載マルチセンサー制御システムを共同開発。
- 2010年 センサ制御ASIC、コントロールユニットを複数開発。ASICの国内外システムメーカーECUへのSW含むインプリメンテーションを遂行、センサ事業拡大に貢献。
- 2017年 AEC事業部事業部長。新規アフターマーケット商材、車載計測器事業を上市。
- 2020年 イノベーション推進本部副本部長 ニーズ視点のソリューションビジネス創出を牽引、課題解決組織の文化を構築。
- 2023年 ビジネスインプリメンテーション本部本部長 コアシーズ視点のハード素材、部品ビジネス事業を推進。

Niterra日本特殊陶業の製品・素材・アセット

製品・素材：無鉛圧電素子、超音波、リチウムイオンキャパシタ、プラズマ、セラミックコンポーネント、ヒーター

アセット：無機材料（セラミック）、金属材料開発（粉末冶金技術）、シート積層技術、成形技術、酸化還元焼成技術、異種材料アセンブリ技術、生産技術、車載品質QMS、グローバル車載部品販路（4輪／2輪OEM、アフターマーケット販路）、回路技術、車両評価技術

18:45～19:00 事業紹介ピッチ

株式会社アールティ 代表取締役

中川 友紀子 氏

「Life with Robot-ロボットのいる暮らし-」の実現を目指して、最先端のAI&Roboticsにおける技術開発に挑戦し、AI・サービスロボット分野での高度人材育成から、教育・サービスロボットの自社開発、受託開発まで幅広い事業展開をしています。人型ロボットをはじめとするサービスロボットの開発・販売においては多くの実績があります。大学、企業向けの教育ロボットキットなども多数発売し、多数の学会から貢献賞などの受賞をしています。また、ROSコミュニティへの貢献や、マイクロマウスなどのロボット競技会等エンジニアの育成支援も積極的に行っています。

近年はサービスロボットの教育や受託開発で培った技術やノウハウを活かし、食品工場での人手不足を解消するための協働ロボットや、工場向けのAIビジョンシステム、製造ラインなどの開発にも力を入れています。

ホームページURL <https://rt-net.jp>



19:00～20:00 交流会

登壇者・参加者間での気軽な交流会を実施します